

令和3年度第2回 四條畷市公共施設再編検討会 議事要旨

開催概要

- ・日時:令和3年7月29日(木)18:00~20:00
- ・場所:四條畷市役所本館3階 委員会室
- ・出席者:検討会委員12名(総数15名)
- ・傍聴者:0名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、傍聴の自粛を要請

主な意見等

第3(第2号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について

●各検討対象施設の方針について

②教育文化センター機能

- ・「教2」(資料室)の指定管理者独自の自主事業とはどの施設のことなのか。個別施設計画との整合が△になっている理由を説明いただきたい。(川勝委員)
 - …教育文化センターの資料室は、指定管理者が自主事業の一環として運営している。現状では、教育文化センターと歴史民俗資料館において、それぞれ別の事業者が運営しているため、機能を移すと事業者間の調整が難しいという側面があり、△としている。南中学跡地は直営で運営しているためバツティング等の問題はなく、整合性が図れると判断した。(事務局)
- ・「教2」を歴史民俗資料館敷地に配置したのは、歴史民俗資料館の利用者を増加させるという狙いがあったのだが、指定管理者の問題があるならば、南中学校跡地に配置するしかないのではないか。(川勝委員)
 - …現時点では、まだ指定管理者同士の調整はしていない状況。機能強化を図って来館者が増える方が望ましいということであれば、意見として頂ければと考えている。(事務局)
 - …本検討会では、意見の完全一致を目標とするのではなく、様々な異なる意見があること自体をまとめていく方針であるため、どのような意見でも頂ければと考えている。(委員長)
- ・集約することで費用が高くなるのであれば、現状のまま残すという方針もあるのでは。現状、市として費用を抑えたいのか、機能集約したいのか、方針が分からない。(福井委員)
 - …公共施設の維持を考える上で、現状使用できるから良いというわけではなく、将来の更新費用も踏まえて方針を定める必要がある。すべての施設を現状維持する場合、約12億円必要となる見込みであるが、これを7億円に抑えたいと考えている。機能の集約が図れる施設については検討していきたいと考えている。(事務局)
- ・将来的には、少子化による学校施設の廃校も考えられる。学校跡地の利用という意味でも、南中学校跡地にどのような施設を配置するのかを先に議論するほうが良いのではないか。南中学校跡地に誰もが楽しめる、災害に強く安心できる施設を整備できないか。(山口委員)

⑦保健センター機能

- ・今一番差し迫っての問題は、市庁舎の建て替えてではないか。話が広がりすぎてイメージできない。集約・複合化によってどのくらい費用がかかり、何年ほどでその費用が回収できるのか具体的に示してほしい。(大年委員)
 - …費用は規模や配置によっても変動するため、現時点で明確に示すのは難しい。配置・統合の意見を頂きながら、具体的に検討していきたい。(事務局)
- ・保健センターは市民総合センターより後に建設されているが、偶然空き地があったから整備されたように思う。市庁舎との複合化が×となっている理由を教えてください。(山口委員)
 - …市の計画(市庁舎と保健センターの複合化)と照らして、保健センターと市民総合センターを統合する内容であったため、×としている。市庁舎と保健センターの統合が×ということではない。(事務局)
- ・保健センターは、複合先が市民総合センターか、市役所かによって市民の活用方法が変わると思う。行政

主な意見等

側にとっては市庁舎との複合が効率的かもしれないが、市民にとっては市民総合センターと複合化するほうが良い可能性もあるのではないかと。(川勝委員)

- ・保健センターは病気等の症状がある際に訪れる施設のイメージがあるため、感染症の観点から考えると、市庁舎のような市の中心となる行政機能と複合化することに若干懸念がある。(福井委員)
- ・保健センターは現状の場所で維持できるのではないかと。(山口委員)

⑧四條畷市シルバー人材センター機能

- ・シルバー人材センターの機能上、利便性にあまりこだわらなくても良いかと思う。現在の場所は利便性が高いので、他の有効活用方法を検討するのも良いかもしれない。(石井委員)
- ・楠風荘の移転先としても良いのではないかと。(山口委員)
 - …駐車場を含めた敷地面積が1,300㎡程度で、歴史民俗資料館と同等の規模である。(事務局)

⑨福祉コミュニティーセンター機能

- ・福祉コミュニティーセンターは非耐震だが、残された建物はどうする予定なのか。(川勝委員)
 - …耐震性を有していない建物を保有するのはリスクがあるため、他の場所で機能を確保した上で、建物は解体する予定である。(事務局)
- ・南中跡地に集約するのを前提として考えると、少子高齢化が進む中で四條畷市の地域のコミュニティを考えたとき、福祉や教育機能は施設ごとに分かれていた。しかし、地域の抱える潜在的な課題を世代間で共通認識するという意味で、集約することには一定の価値があると思う。子どもも大人も共存できる場所にすれば、地域の課題の認識のためにうまく施設の利用をしていくことができるのではないかと。(田中委員)
- ・福祉コミュニティーセンターは南小学校に隣接している。福祉コミュニティーセンターをどこかに統合し、空いた土地を南小学校として有効活用し、学校関係として先進的な取り組みができ、四條畷市としても人が集まるような教育施設ができないか。(福井委員)
- ・福祉コミュニティーセンターと教育文化センターで、会議室利用等、共通点が多く見られた。南中学校跡地を賑わいの場所にできれば、活気づくのでは。(山口委員)
- ・福祉コミュニティーセンターは狭いので広くしてほしい。教育文化センターも利用者が少なく、福祉コミュニティーセンターと機能もよく似ているため、南中学校跡地で複合化してはどうか。(田村委員)

④市民活動センターの体育館以外の機能

- ・南中学校跡地に複数の機能を集約することで、様々な人が集まりコミュニティが生まれると思うが、機能が1か所に集まりすぎるのは良くないのではないかと。福祉コミュニティーセンター跡地など、他の場所にもある程度分散配置するほうが良いと思う。(川勝委員)
- ・社会福祉協議会が入っている事務所は、議論に含まれているのか。また、サークル団体の利用状況なども共有した方が良いのではないかと。(小寺副委員長)
 - …社会福祉協議会は「福4」に含まれており、現在議論しているところである。また、校舎の中に空き教室は、サークル活動などに活用されており、利用率が高い状況である。(事務局)
- ・校舎は耐震化されていないのか。(小寺副委員長)
 - …校舎は耐震化できていない。それと、市内の西部地域にはボール遊びができる広場がないため、この場所を使用して整備していきたいとの考えから、校舎内の機能を移転する内容を個別施設計画に示している。(事務局)
- ・社会福祉協議会はとても大事な施設である。市の中心機能、福祉の中心拠点として尊重し、立派なところに入れていただきたい。(守屋委員)

⑤忍ヶ丘おおぞらこども園機能

- ・現状の敷地面積はどの程度なのか。(小寺副委員長)
 - …道路で2つに分断されているが、北側と南側合わせて敷地面積3,500㎡程度、延床面積が1,300㎡程度。保健センターは、敷地が1,300㎡程度、3階建の延床面積が1,300㎡程度となっている。(事

主な意見等

務局)

- ・「ii) その他に配置」の意見として、小学校の人数が減っている現状があるので、空き教室を利用するのはどうか。(川勝委員)
- ・高齢者施設とマッチングさせるのはどうか。配置場所については、どの場所にニーズが高いのか新生児の出生状況などから検討してみてもどうか。(三輪委員)

⑥老人福祉センター楠風荘機能

- ・表内の市民活動センター敷地に記載されている点について、ボール遊びのできる広場は楠風荘の機能として整備するのか。(川勝委員)
 - …市内西部地域は、ボール遊びが出来る広場が少ないため、市民活動センターの機能を転用した後、跡地を転用して広場を整備したいと考えている。(事務局)
- ・市民活動センターの体育館は残すのか、解体して広くするのか教えてほしい。(石井委員)
 - …体育館は利用率も高いため、残す方向で考えている。また、校舎に入っている機能は別の場所で整備することを考えている。(事務局)
- ・楠風荘の利用者は高齢者が多いので、交通の便が良いところに配置してほしい。(守屋委員)
- ・楠風荘から市民グラウンドまでは、遊歩道も含めて市の敷地なのか。(石井委員)
 - …遊歩道も含めて市の敷地である。(事務局)
 - …竹藪を整備すれば広い敷地になるので、それも含めて検討してほしい。(石井委員)
- ・不便なところに位置しているが、利用率は高い施設。防災の観点からは、このような施設を市に分散して配置しておけば、災害時にも役立つと思う。(田中委員)

●追加機能について

②教育文化センター敷地における追加機能

- ・断層が近く土砂災害も起こる可能性のある地域なので、防災センター機能を整備するのは賛成。防災施設があれば市民も避難しやすいのでは。(石井委員)
- ・災害時には、市の機能が混乱する中での避難者の誘導、食事やトイレの提供など様々な問題が浮上することが予想されるが、コントロールポイントを作ることが有効。通常使用しないが災害時に使用できるサブ機能を持たせた施設を、市域西側や田原地区など市内に分散して配置することが重要。地域ごとで集約できることが大事になってくる。(田中委員)

○その他提案・意見「まちのみせ」について

- ・川勝委員の提案した「まちのみせ」について、どのようにまちの中に分散していくのか。南中学校跡地で集約する一方で、機能を分散させることも必要であると考えている。(田中委員)

●再編検討全般について

- ・様々な意見がある中で、結局まとまらなかったということにならないようにしてもらいたい。今回、若い人にツケを回さないということを目指して再編検討をしているが、今住んでいる市民が納得できるような施設再編でないといけないと思う。(山口委員)
- ・まず優先して耐震性がない施設から考える必要がある。どこから手を付けるべきなのか、何が重要なのか方針を定めないと堂々巡りになってしまう可能性がある。(山口委員)
- ・検討会で出た様々なアイデアを上手く活かしていただきたい。(田中委員)
- ・機能、配置、人、職場、コストのどれを重視して検討していくのかも考える必要がある。(小寺副委員長)

●全体のまとめ

- ・再編計画の方向性について、いくつかパターンを出して整理する。次回はその整理した内容を基に、委員全員で検討できるようにしたい。費用面など現時点で落とし込める情報はできる限り反映させることで、具体

主な意見等

化していきたい。(小田切委員長)

以上